

学聞読者のみなさん、こんにちは。山陰中央新報社のマスコットキャラクター・サンちゃんです。

もうすぐ夏休み。僕はやりたいことがたくさんあって困ってます。あー、どうしよう！

でも一つだけ、もう決めていることがあります。それは新聞作り。

夏の思い出や普段気になっていることを新聞にまとめて、家族や友達に見てもらおうんだ。

自分の思いを人に伝えることができると楽しいよ。作り方を紹介するから、みなさんも挑戦してみませんか？

サンちゃん



# 夏休みに新聞作ろう

## テーマ何でもOK

## 引きつける紙面に

### 作り方の手順

#### ① テーマを決める

何の新聞を作るか決めよう。ペット、家族、友達の間で流行の遊び、職場体験や自由研究の成果など何でもOK！ 今、伝えたいことを選ぼう。

テーマを決めたら新聞の名前(題号)を決める。見た人が思わず読みたくなるような名前、デザインを考えてね。

#### ② 取材をする

取り上げるテーマについて知りたいこと、聞きたいことを整理して、ノートに質問を書き出そう。

取材でいい質問をするには準備が大事。取材内容について、事前にできる限り調べておこう。聞いたことの要点は、後で記事にするためにメモしよう。

#### ③ 原稿を書く

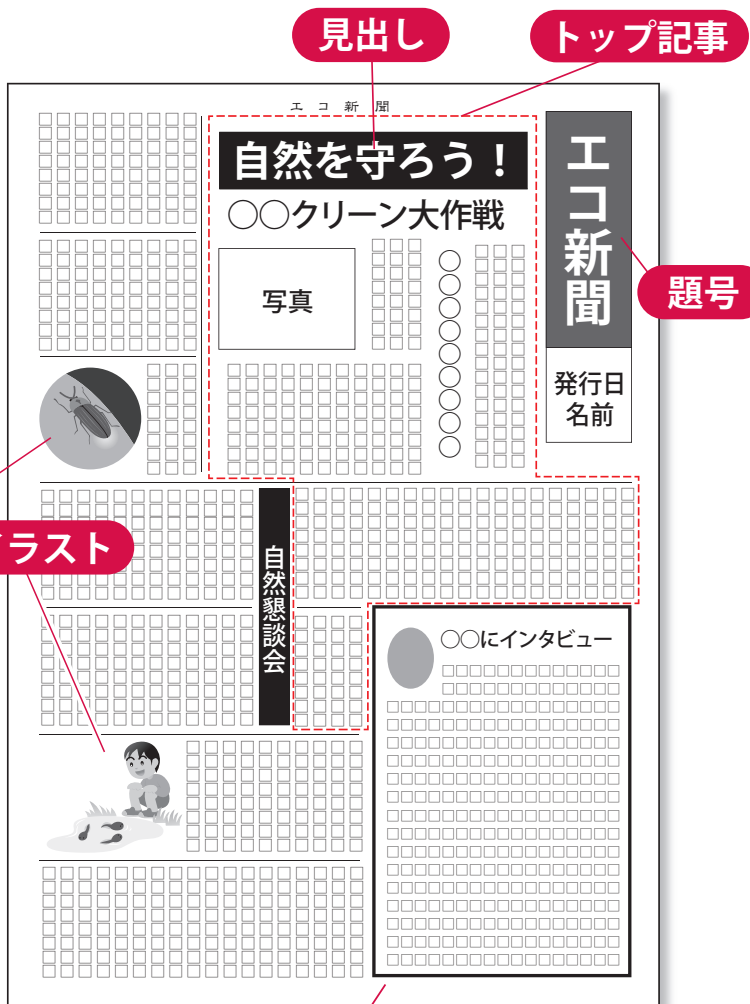
取材メモ、集めた資料などを基に記事を書こう。「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「なぜ」「どのように(どうした)」という文章を書くときの「六つの大事なこと(5W1H)」を入れると、分かりやすい文章になるよ。

#### ④ 記事に「見出し」をつけ 写真やイラストを用意

記事が書けたら「見出し」をつけよう。見出しは、その記事がどんな内容か、ひと目で分かるよう短い言葉でまとめた「記事のタイトル」。記事の内容をより分かりやすく伝えるための写真やイラスト、図も用意しよう。

#### ⑤ レイアウトする

記事、見出し、写真やイラストなどの材料を用紙にバランスよく配置しよう。「イチ押し」の記事は題号横のトップ記事の位置に。そのほかの目立たせたい記事を線で囲むのもいいね。見出しのインパクトや色使いを工夫して、新聞を目にした人に「面白そう」「読んでみたい」と思わせよう！



楽しい紙面になるよ。  
記事の内容を分かりやすく伝える手助けにもなるね

全体を線で囲み、紙面に変化をもたせるよ

☆詳しい新聞の作り方をあすからの本紙で紹介するよ。ぜひ参考にしなね。

しまね小中学生新聞コンクール  
にトライしてみよう

山陰中央新報社は「第7回しまね小中学生新聞コンクール」を開きます。キャッチフレーズは「『記者』の目で見てみよう！」。記者になって、自分だけの新聞を作ってみませんか。ご応募楽しみに待っています。

☆学校への提出締め切りは11月30日(金)。コンクール専用用紙を使ってね。コンクール事務局まで。  
電話 0852(32)3414  
メール shochu@sanin-chuo.co.jp  
山陰中央新報社のホームページでも詳しい情報や過去の優秀作品を見ることができます。